

江戸川インゲンとサラダ菜、地名はありますが、野菜は昭和中期に消滅しました。小松菜は小松川菜のことです。地名・菜ともに健在です。

千住ネギ・クワイ・ナス、地名は残っています。ネギは江戸時代から有名で、現在も作られています。クワイとナスは昭和前期に無くなりました。

元木ナス、地名は足立区に今もあります。ナスは昭和前期に消えました。

金町コカブとネギは地名・野菜とも健在です。コカブ[°]は和洋両用なので、全国で作られています。

曲金菜、「まがりかね」は葛飾区高砂となりました。菜はありません。

奥戸余蒔シロウリ、本所ナス、早稲ミョウガ、いずれも地名はあるが、野菜はありません。寺島ナスは両方共ありません。

野菜に関係ある地名、江戸・東京周辺で野菜に関係ある地名を拾ってみました。

青物町は日本橋の南詰。町名は早く消えたが、野菜市場は関東大震災まで在りました。

青物横町は旧品川宿の青物市場が在った所で、京浜急行の駅名として残っています。

芋洗坂は六本木から日ヶ窪町に下る坂、芋坂は谷中感応寺裏門から根津方面に下る坂をいいます。

芋橋は神田川に架かる昌平橋の旧名。茗荷谷町は小日向清水谷町伝明寺の西下の町。今は町名はありませんが、地下鉄の駅名に残っています。

茗荷坂はその町から小日向台に上がる坂。大根ヶ原は巢鴨村にありましたが、とうの昔になくなりました。

八百屋坂は千代田区一番町行人坂の上から東に下がる坂をいいました。

質疑応答

森田 練馬・杉並方面では一時期ですが、奈良漬用のシロウリを生産しました。軽く塩漬けして出荷しましたが、納入経路と漬物屋は分りますか。

福井 奈良はもと銘酒の産地でしたから粕漬の発達も早かったと思います。石神井川のほとりに中川屋という有名な漬物屋があって、新宿の二幸に品物を収めていたといえます。

余談ですが二幸は海の幸・山の幸を売るからだそうです。福神漬は本来は七福神漬です。現在は三品ぐらいきり入っていません。

荒井 奈良興福寺の塔中で酒を造っていたという古記録があります。現在山崎屋という有名な店があります。昔は蔬菜と言っていたが当用漢字に蔬の字がないから野菜になった。「やっちゃば」の語源と、土物店は具体的に何を売る店かわかりますか。

福井「やっちゃば」「やっちまえ」という喧嘩言葉です。音は青物つまり菜っ葉と、「つちもの」といって、芋やネギのように土の付いたものは別の店が扱いました。何でも売るのが「八百屋」で、担いで商うのは「前栽屋(せんざいや)」といました。

高田 日本古来の野菜が十一種類くらいある、といますが、何々ですか。

福井 見方によって多少違いますが、ワラビ・ゼンマイ・ウド・サンシヨウ・ジネンジョ・ジュンサイ・フキ・ボウフウ(ニガナ)・ナズナ・トコロ・ハコペ・アサツキ・タケノコ(ネマガリ竹)などです。

大根・カブなどは史前帰化植物です。ヨモギ・サンショ・タデ・ワサビなどは辛味野菜で、一般野菜とは別格に扱われています。

司会 本日はこれで閉会いたします。